

令和2(2020)年度

大阪府高視研と放送コンテスト委員会の歩み

大阪府高等学校視聴覚教育研究会

目次

大阪府高等学校視聴覚教育研究会事業報告	2
大阪府高等学校視聴覚教育研究会役員、異動ならびに会員消息	3
放送部関係のコンテスト・技術講座日程一覧	4
＜研修会・講座・講習会＞	
高校生のための放送技術講座（併催 顧問講習会）	
開催内容（当日配布）	5
校内指導者研修報告プレゼン資料	7
朗読講座配布資料	9
アンケート結果	11
＜放送コンテスト関係＞	
大阪府高校放送コンテスト大阪大会	
実施要項	16
決勝結果一覧	20
参加状況一覧	22
大会報告（課題原稿・審査員一覧含む）	23
＜芸術文化祭関係＞	
第41回大阪府高等学校芸術文化祭 放送文化部門	
参加要項	25
優秀賞・奨励賞一覧	28
参加状況一覧	29
第44回全国高等学校総合文化祭(高知大会)放送部門	30
第40回近畿高等学校総合文化祭(奈良大会)放送部門	30
＜大会および研修会＞	
第24回視聴覚教育総合全国大会・第71回放送教育研究会全国大会合同大会（大阪大会） （第70回近畿学校視聴覚教育研究大会・第69回近畿放送教育研究大会を兼ねる）報告	31
公式サイト等のご紹介	39

令和2年度 事業報告

令和2年5月19日
大阪府高等学校視聴覚教育研究会

(1) 総会および研修会

- ①総会 令和元年 月 日() ※中止
※関係資料をWEBにて公開の上、異議なくご承認いただきました。

(2) 講座および講習会

- ①高校生のための放送技術講座
第1回 令和2年4月26日(日) ※中止
第2回 令和2年8月23日(日) ※中止
第3回 令和2年11月3日(日) ※中止
第4回 令和3年3月28日(日) 相愛高等学校 ※予定の1月24日(日)から変更
②放送クラブ顧問交流会 ※中止
③放送クラブ指導者講習会 令和3年3月28日(日) 相愛高等学校

(3) 放送コンテスト関係

- 第67回 NHK杯高校放送コンテスト大阪大会 ※中止
予選 令和2年6月7日(日) 決勝 令和2年6月21日(日)
※大阪府高校放送コンテストとして実施
アナウンス・朗読部門予選
予選 令和2年8月8日(土)・9日(日) 大阪府立西成高校(非公開)
決勝 令和2年8月12日(水) 大阪夕陽丘学園高校(公開)
番組制作部門・研究発表会
予選 令和2年8月22日(土) 大阪府立西成高校(非公開)
決勝 令和2年8月23日(日) 大阪府立今宮工科高校(公開)

関連行事

(1) 大会および研修会

- ①令和2年度近畿放送教育研究協議会夏期特別研修会 (本年度は実施予定なし)
②第24回視聴覚教育総合全国大会/第71回放送教育研究会全国大会
(第69回近畿放送教育研究大会・第70回視聴覚教育研究大会を兼ねる)
令和2年11月13日(金)～14日(土)
※オンライン開催(大阪夕陽丘学園高等学校・箕面自由学園高等学校等)

(2) 第67回NHK杯全国高校放送コンテスト全国大会

令和2年8月2日(日)～5日(水) 甲南大学 兵庫県立芸術文化センター ※中止

(3) 芸術文化連盟関係

- ①第44回全国高等学校総合文化祭放送部門
令和2年7月31日(金)～10月31日(土) 高知県 ※オンライン開催
②第40回近畿高等学校総合文化祭放送部門
令和2年12月12日(土)～令和3年1月17日(日) 奈良県 ※オンライン開催
③第41回大阪府高等学校総合文化祭放送文化部門
令和2年11月3日(日) 大阪私学会館
☆令和3年8月の「2021 紀の国わかやま総文」の選考を兼ねる。

事業成果報告

令和2年度「大阪府高視研と放送コンテスト委員会の歩み」は
大阪高視研ホームページ <https://www.koushiken.jp> にて報告予定

令和2年度 大阪府高等学校視聴覚教育研究会役員

会長	西田 恵二	大阪府立泉北高等学校長
副会長	伊藤 範子	大阪府立桃谷高等学校准校長
	上山 陽司	大阪市立淀商業高等学校長
	西谷 公成	阪南大学高等学校長
会計監査	戸野 佑亮	大阪府立槻の木高等学校首席
	阿部 兵武	大阪市立泉尾工業高等学校教諭
	大西 篤史	相愛高等学校教諭
書記	久下 哲也	大阪府立池田高等学校教諭
	後藤真沙子	大阪市立中央高等学校教諭
	山中 華	箕面自由学園高等学校教諭
会計	酒井 学	大阪府立堺西高等学校教諭
	佐藤 孝	大阪市立淀商業高等学校教諭
	藤田 大輔	阪南大学高等学校教諭
顧問	岩崎 判二	
幹事	秋本 みゆき	大阪市立高等学校教諭
	伊藤 元也	四天王寺東高等学校教諭
	小畑 敦彦	大阪府立西成高等学校首席
	加藤 武彦	四天王寺高等学校教諭
	瓦林 朗	東海大学付属大阪仰星高等学校教諭
	阪本 純治	桃山学院高等学校教諭
	佐々木永里子	大阪府立金岡高等学校教諭
	佐々木孝夫	大阪府立摂津高校教諭
	竹中 泰子	相愛高等学校教諭
	田名瀬さゆり	大阪府立桜塚高等学校教諭
	田辺 元紀	大阪府立野崎高等学校教諭
	中井 勝久	大阪夕陽丘学園高等学校教諭
	西野 宏美	大阪府立高津等学校教諭
	伴 慎一	大阪府立今宮工科高等学校首席
	廣津 麻美	大阪商業大学堺高等学校教諭
	福光 聖美	大阪体育大学浪商高等学校教諭
	松田 朋子	大阪府立みどり清朋高等学校教諭
	山口 耕治	大阪府立芦間高等学校教諭
	吉新 聖二	大阪府立春日丘高等学校指導教諭

役員異動ならびに会員消息（令和3年4月1日現在）

小畑 敦彦	（大阪府立西成高校）	……………府立西成高校教頭へ
松田 朋子	（大阪府立みどり清朋高校）	……………府立箕面高校へ
佐々木孝夫	（大阪府立摂津高校）	……………ご退職

放送部関係のコンテスト・技術講座日程一覧

2021 年 3 月 3 日現在
放送コンテスト委員会

放送コンテスト委員会がかかわるコンテスト等の日程は次の通りです。これらについては、個々に案内を送付することはせず、すべて Web 上での案内・申込みとなります。各校で 高視研の Web ページを確認し、申込みを行ってください。
(これ以外に、大学・専門学校・放送局が主催するコンテスト等も多数あります)

■ 令和2年度(2020年度)

大会名	日程	会場	申込締切・参加資格等
第1回 高校生のための放送技術講座	中 止		
第67回 NHK 杯全国高校放送コンテスト 大阪大会（予選・決勝とも）	中 止		
第44回 全国高等学校総合文化祭 （こうち総文） 放送部門		Web での発表・交流による 開催	昨年 11 月の芸術文化祭 で入賞したことが必要
第67回 NHK 杯全国高校放送コンテスト 全国大会	中 止		
大阪府高校放送コンテスト アナウンス・朗読部門 番組部門・研究発表会	8月8(土)・9(日) 8月12日(水) 8月22日(土) 8月23日(日)	予選 非公開(西成高校) 決勝 大阪夕陽丘学園高校 予選 非公開(西成高校) 決勝 府立今宮工科高校	NHK 杯の替わりの大会と して大阪府独自で実施 申込締切 7月22日(水)
第2回 高校生のための放送技術講座	上記の「大阪府高校放送コンテスト」として実施する。 (技術講座としては中止する)		
第41回 大阪府高等学校芸術文化祭 放送文化部門	11月 3日(日)	大阪私学会館	来年8月の「2021 紀の国 わかやま総文」の大阪府 代表の選考を行う 申込締切 10月17日(土)
第3回 高校生のための放送技術講座	11月 3日には実施しない。		
第40回 近畿高等学校総合文化祭 放送部門	12月12日(土)～ 1月17日(日)	Web 上での発表 (左記の期間中公開)	8月実施の大阪府高校放送コン テストの成績をもとに選考する
第43回 校内放送指導者講座	12月27日(日)～ 12月28日(月)	本年度はオンライン開催	教員対象 申込締切 11月27日(金)
第4回 高校生のための放送技術講座	3月28日(日)	相愛高校	1月24日(日)の予定を 延期して実施

■ 【参考】 令和3年度(2021年度)のコンテスト予定(近畿大会・全国大会)

大会名	日程	会場	備考・参加資格等
第68回 NHK 杯全国高校放送コンテスト 全国大会	7月10日(土)～ 29日(木)を予定	全部門データ審査を予定	日程等変更の可能性あり 詳細は別文書を参照
第45回 全国高等学校総合文化祭 (紀の国わかやま総文) 放送部門	8月 4日(水)～ 8月 5日(木)	和歌山県 かつらぎ総合文化会館	2020 年 11 月の芸術文化 祭で入賞することが必要
第41回 近畿高等学校総合文化祭 放送部門	11月15日	滋賀県	2021 年度 NHK 杯大阪大会 (決勝)の成績を基に選考

令和3（2021）年3月28日（日）

令和2（2020）年度 高校生のための放送技術講座

やっと実施することができました。ご参加、ありがとうございます。
互いに切磋琢磨して、大阪全体のレベルアップを目指し、実り多い一日にいきましょう！

〔1〕 3月28日の時程（本日の予定）

9：00～ 9：30 午前の部受付
9：30～11：30 A) アナウンス講座（生徒向け）
11：45～13：15 B) アナウンス・朗読講座（教員向け）
13：15～13：45 午後受付
13：45～15：45 C) 朗読講座（生徒向け）
13：45～16：15 D) 番組講座（生徒・教員向け）
※開会閉会行事はありません

〔2〕 注意・連絡

- ・ マスクは常に正しく着用し（鼻と口の両方を覆う）、適宜手指消毒を行ってください。
- ・ 会場を汚さないよう気を付け、ゴミは各校で持ち帰ってください。
- ・ 生徒待機場所はあります。自分の参加した講座が終わったらすみやかに帰宅してください。
- ・ 男性用お手洗いが限られていますのでご注意ください。
- ・ 顧問の先生方の昼食は食堂をご利用ください（営業はしていませんのでご注意ください）。

〔3〕 生徒向け講座

A) アナウンス講座（生徒向け）・・・【セミナー室】

①前半（9：30～10：30）

講師：松田 朋子 先生（府立みどり清朋高等学校）

内容：12月にリモートで行われた指導者講習会に参加した松田先生による伝達講習です。模擬審査等を含みます。6月に実施される『第68回NHK杯全国高校放送コンテスト』へ向けての技術講座です。

②後半（10：30～11：30）

講師：仲山 豊秋 先生（元立命館大学 文学部 人文学科言語コミュニケーション専攻 教授）
NHK元アナウンサー。専門は「言語表現」「音声表現」「言語伝達」「日本語文化」

内容：公開指導

音声表現のアドバイスを自分の読みに役立てましょう。

C) 朗読講座（生徒向け）・・・【セミナー室】

①前半（13：45～14：45）

講師：仲山 豊秋 先生（元立命館大学 文学部 人文学科言語コミュニケーション専攻 教授）
NHK元アナウンサー。専門は「言語表現」「音声表現」「言語伝達」「日本語文化」

内容：公開指導

音声表現のアドバイスを自分の読みに役立てましょう。

②後半（14：45～15：45）

講師：鎌田 潤 先生（放送コンテスト元委員長）

内容：来年度のNHK杯コンテストに向け、指定作品の抽出箇所を考えます。

D) 番組講座（生徒・教員向け）・・・【視聴覚教室】

講師：井村 慎介 先生（関西テレビ放送株式会社 編成局編成部）

高校時代放送部で活躍され、現在は関西テレビで編成の仕事に携わっていらっしゃいます。

内容：ドキュメント番組制作「構成」についての公開指導

申込時に示した準備をしっかりとした上で参加していますね。次のステップへ行くため公開指導のアドバイスを自校にも役立てましょう。

〔4〕 教員向け講座

B) アナウンス・朗読講座（教員向け）・・・【視聴覚教室】

講師：仲山 豊秋 先生（元立命館大学 文学部 人文学科言語コミュニケーション専攻 教授）
NHK元アナウンサー。専門は「言語表現」「音声表現」「言語伝達」「日本語文化」

内容：アナウンス・朗読の音声表現指導法

D) 番組講座（生徒・教員向け）・・・【視聴覚教室】

講師：井村 慎介 先生（関西テレビ放送株式会社 編成局編成部）

高校時代放送部で活躍され、現在は関西テレビで編成の仕事に携わっていらっしゃいます。

内容：ドキュメント番組制作「構成」についての公開指導

申込時に示した準備をしっかりとした上で参加していますね。次のステップへ行くための公開指導のアドバイスを自校にも役立てましょう。

※ 生徒向け講座 A) アナウンス講座、C) 朗読講座 にもご参加ください。

2020年度 高校生のための放送技術講座 [アナウンス]

校内指導者研修の報告

2021.3.28

審査で見られているポイント

(2) 審査の視点

a. 内容

(ア) 素材の選び方は適当であるか。→ 聞く対象は校内の生徒
(イ) 文章表現は適当であるか。

b. アナウンスの技術

(ア) 自然な発声で聞き手に伝わるようにアナウンスしているか。

・発声・発音・マイクの使い方

(イ) 正しく意味を伝える表現ができているか。

・内容把握

・イントネーション

・言葉の立て方(プロミネンス)

・アクセント

(ウ) 間(ポーズ)は適切か。

・テンポ・ポーズ

①話すように読んでいるか聞き手が話されていると感じることができるか

●二音目の音が発信されているか2音目強調になっていないか

②イントネーション

●意味を伝える決め手

プロミネンス

●音を高くして強調する

③発声力が入っていないか息と響き

●力が入っていると2音目強調

●体を使った息(腹式呼吸・息だけで読んでみる)と響き(声帯や口腔に力を入れない・軽い欠伸をする)

④意味のまとまりはわかりやすいか

●アナウンスー短い文

審査の視点 簡単にまとめると...

[内容]

- 何の話かすぐ分かる。何を伝えたいのかわかる。
- 内容面白いかな聞きたいか
- 構成センテンスが短い(何がどうした)具体的か
- 何の話か結論は何か読ませるのではなく話してみる。
- 話し方自分が伝えたいと思っているか何を言いたいのか
(動機がある)

審査の視点 簡単にまとめると...

[技術]

- 間が十分とれているか(聞き手を意識した間になっているか)
- 変化するところが、自分の技術に合わせて伝えられるか

今日から実践しよう！

①原稿作成

- 文章表現の工夫
⇒情報を持ってくる順番を考える

For example 耳慣れない単語[固有名詞など]

- 「？」と思うと、聞き手は一瞬次の音が聞けなくなる
- 中学校卒業程度のひとがわかるニュース原稿を[プロの実践]

- 使う単語の工夫

漢語から大和言葉へ

②アナウンス技術

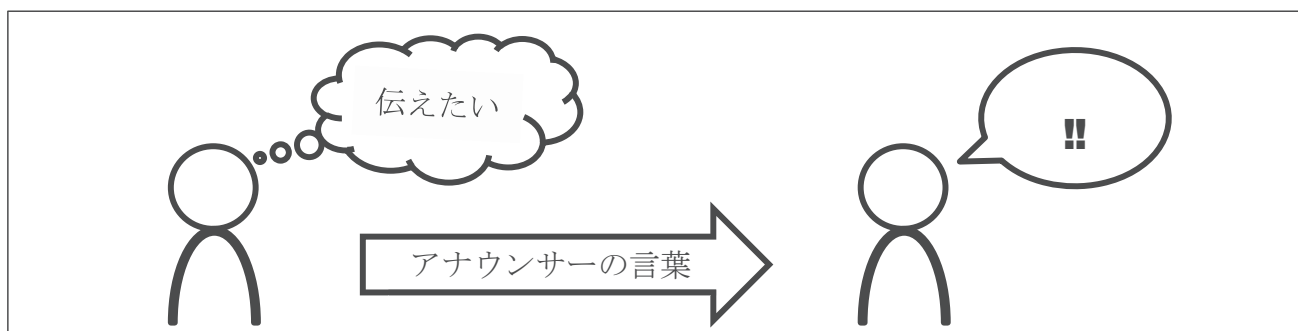
- 「伝えるための」声づくり
- * アナウンスで芯のないフワフワした声はNG
息を活用した発声を心がけよう

☆原稿を黙読して内容をひとこととまとめる訓練

→話の根幹をつかむ→アナウンスした時にポイントが際立って聞こえる

(1) 朗読とアナウンス：伝えるということに関して

・アナウンスの場合



・朗読の場合



朗読者が明確にしておかなければならないこと。

- ①著者・作者から何を受け取ったのか。
- ②その中で、自分は何を伝えたいのか。
- ③自分が朗読する部分は、自分が受け取ったものとどういう関係にあるのか。

(2) 朗読者の心得

★朗読は自分の感じたことを演じて見せるのではなくて、自分の朗読を聞く人の心に、その情景がありありと思い浮かんだり、あるいは、情緒が湧き上がったたりする---それが朗読。

★一つの作品を読んで、この作品を代表するのはここだと見極めて、そこを選ぶのが基本。

第36回 NHK 杯全国高校放送コンテスト大阪大会決勝講評

★朗読は自分を表現するものではない 作品を表現するものである（中略）楽しむのは基本的には朗読を聞いている人であって、読んでいる人ではない。読んでいる人は逆に苦しむことになるが、聞いている人が楽しくなれば、その朗読は素晴らしい朗読といえる。

新・校内放送ハンドブック（下）p.67 平成5年 日本放送教育協会

★朗読とは作品から受ける感動をそのまま聞き手に伝えるものであるからである。自分が感動しない作品を、聞き手に感動をもって伝えることはできない。

新・校内放送ハンドブック（下）p.89

あなたが伝えたいことは何ですか？

◎実例から学ぶ ～2020 年度大阪大会出品作品を聞く～

1.それ、失格かも

①森下典子「日日是好日」から

2.大事な部分はどこですか

①森下典子「日日是好日」から

②荻原浩「海に見える理髪店」から『海に見える理髪店』

3.読み手の声の質は登場人物の人物像とあっていますか

○メディア審査について気をつけたいこと

① 録音に使うマイクは口径の大きいものを

② 音声ファイルの形式は、必ず指定されたものに

※提出された音声データの形式

wav	wma	mp3	m4a	aac
-----	-----	-----	-----	-----

PC やスマホに録音した音声データそのままを提出するのではなく、ファイル形式を指定して保存する。必要に応じて、録音ソフト（アプリ）やファイル変換ソフトを利用する。

「審査は CD プレーヤーで再生」とあるときは、「音楽 CD を作成する」オプションで CDR を作成する。データ CD ではない。追記できる形式にしない（クローズする）。音楽 CD はコンピュータで再生できるが、データ CD は CD プレーヤーで再生できない。

☆詳しい人の助けを遠慮せずに借りよう。放送部員でなくても、卒業生や先生でも。

☆早めに録音する。締め切り間際は、番組制作チームが忙しい。また、提出ファイルを必ず聞き直す。

【生徒向けアンケート】

1 参加講座別感想

(A) アナウンス講座

- ・いろいろなお話を聞くことができてためになった。今後に活かそうと思う。話すアナウンスのことをよくわかっていなかったけれど、今日の講座で理解できた気がする。
- ・いろんな重要なことが知れて楽しかった。今日聞いたことを活かしていきたい。
- ・アナウンスを聞いてもらえてよかったです。書き言葉→話し言葉にするにはどうすればいいかがんばって工夫します。文を書くコツも知りたかったです。
- ・前半では息を活用した発声などの技術面から、かたい表現ではなく聞き手に優しいもの。(漢語→大和語)を心がけるなどの内容面までを、後半では「聞き手に語るように話す」「三角形の斜面理論」など、これからの活動に役立つたくさんのことを今回学ぶことができました。
- ・語りかけることが大事なんだと仲山先生の講義を受けてすごく感じました。この講座を活かしてNコンに向けてがんばります！

(C) 朗読講座

- ・公開指導で、自分は読まなかったけど、これから自分が放送や朗読をしていく上で気をつけるべきことや、読み方の具体的なポイントなど、伝わるように読むための大事なことをたくさん知れてよかったです。後半の抽出箇所のことについては、自分がまず失格にならないように、本当に伝えたいところが伝わるための抽出の仕方を一から知れてよかったです。
- ・実際に指導していただいて、できないところが明確になりました。特に演じることは好きですが得意ではなかったのが、少し上達出来ていると思いました。
- ・朗読の指導がすごくわかりやすかった。上達できると思った。
- ・朗読では、風景や人物の気持ち、作者の考えを聴き手に伝えることが大切だということを学びました。聞き手の前で発表することよりも、相手に自分の思いや、作者、登場人物の気持ちを伝えることを意識して朗読することを心掛けたいと思いました。
- ・抽出場所をどのように決めるのかは曖昧でしたが、それが明確にわかったので、次回から参考にしようと思った。
- ・仲山先生に読みを聴いていただけて、とてもためになるアドバイスをもらうことができました。コロナ禍でリモート練習会が増えたことによっていろんな先生にいろんなアドバイスをいただいているので、自分自身の読みに少しでも近づけるように、アドバイスを生かしていきたいな、と思います。
- ・この講座でとても勉強になり参考になりました。
- ・朗読の基本や、どのように伝えればよいのか、あらためて知ることができました。
- ・とても貴重なお話を聞くことができました。大変になるお話でした。知らないこともたくさんあったので今日来られて本当によかったです。
- ・改めて表現の方法や抽出箇所を考え直そうと思いました。
- ・大変、ためになりました。
- ・基本から教えていただいたので、部内で共有したいと思います。

- ・本来なら聞けないものなどを聞かせていただき、貴重なことができて、とても勉強になりました。
- ・私がどうしても棒読み口調になってしまう原因が分かり、とても勉強になりました。鏡に映すような朗読を心掛けていきます。そのために私が伝えたいことを注意深く選出していきたいと思います。
- ・朗読する際に注意すべき部分や、読む部分の抽出箇所についての解説がとてもわかりやすい形でなされていてとても勉強になった。

(D) 番組講座

- ・井村先生から直接企画についてアドバイスをいただき非常に良かった。今後の番組制作に活かしていきたいと思う。
- ・良い番組構成ができるようアドバイスを生かそうと思いました。
- ・(自分達の) 調べ不足や結論等の力不足を感じた。答えることができなかった質問があった。参考になる話を聞くことができた。
- ・たくさんの学校の企画を知れて、人それぞれの考え方も知れてよかった。
- ・番組を作る基礎を知れて貴重な時間を過ごせました。
- ・改めて自分たちの作品に何が必要かがわかった。意味のある講習でした。ありがとうございました。
- ・「番組作り」を初めて行うので、ドキュメントとは何か、種はどこに、作る上で大切なこととは、等々知ることができてよかったです。
- ・「紙とペンの重要性」について、今日改めて理解しました。
- ・井村先生の講座を受講することができてよかったです。ありがとうございました。
- ・番組の基本がよくわかった。これを活かしてNコンまでの期間頑張りたい。
- ・部内だけでは見ることができない新たな視点を知ることができた。
- ・番組作成の際の考え方などが少し見えてきた。
- ・今後制作していくにあたっての予定を決められたのでよかったです。次の講座までに仕上げられるように頑張りたいです。本日はありがとうございました。
- ・番組講座を受けて番組制作の仕方など知ることができた。

2、コロナ禍での練習の工夫

- ・ソーシャルディスタンスを保ちながら普段通りの練習ができるようにした。
- ・編集作業を分担して各自家に持ち帰って作った。
- ・各自が練習を家で行い、「部活動」としては距離をとりながら、1人ずつ発表(朗読・アナウンス)していった。
- ・番組についての話し合いをオンラインでしている。
- ・全校集会をズームで、式典をYouTube ライブでしている。普段は裏方として放送部が参加している。
- ・家での企画書構成表の制作が主になった。
- ・発声練習を校庭でするようになりました。
- ・部活は中止になってしまってほとんど活動できなかった。
- ・コロナ禍なので部活ができなくなってしまいました。今は家で個人練を行っています。
- ・リモートで大会に参加した。
- ・リモートで他校と朗読の大会をした。
- ・打ち合わせ等のリモート実施。
- ・家で自主練、先輩に音声を送ってアドバイスをもらう。

- ・丹田を意識した呼吸練習をしていて、慣れてきたら速さを変えたりしています。
- ・ズームを使い、リモートで他校と合同練習をした。
- ・アナウンス、朗読の練習でズームを使って他校と合同練習をした。
- ・家で本を読む。スマホに入れておくとすぐ読んだり修正したりできる。
- ・ズームを使って他校と合同練習を行った。マイクを使う前と後にマイク用消毒スプレーを使う。
- ・部室で練習するときは、換気をして行っている。
- ・他校とのオンライン練習。多人数での練習はしない。
- ・部室でかたまらずに、視聴覚室で発声練習などを行っている。
- ・集まらない時はDiscordを使ってリモート会議を行った。
- ・通話やリモートでの会議。
- ・1人で音声を録音して聴きながら練習する。・番組で接触するシーンをできるだけ少なくした。
- ・撮影で密にならないようにした。
- ・録音したものの音声が、どのマスクで一番よく出るかを皆で確認し、録音したものを聞き、反省点を洗い出す。
- ・コロナが流行し始めてから、定期的に他校との合同リモート練習会が開催されています。
- ・発声・アナウンス・朗読の練習で、あまり息を出さないで声を出す練習をした。
- ・常に換気をしながら練習しています。
- ・発声練習の時、窓を開け、壁を向く。
- ・マスクをつけながら朗読すれば、肺活量のトレーニングになるし、コロナ対策もある程度できていると思うので、リモートよりも先生や先輩にとりあえず直接何でも聞いて、技術を盗む。
- ・LINEのグループ通話で練習の見せあいをした。
- ・大人数の発声練習の際、部室内ではなく屋外で発生するようにしている。
- ・距離をとりながら発声練習をしている。
- ・できるだけコロナウイルスの対策をしながらできるだけ一定の距離をたもちながら発声などの練習をしています。
- ・対面ではない朗読大会等に参加した。
- ・家にいる間も、入浴中など時間を見つけて自主練習している。Discordの画面共有で、ドラマの脚本を相談している。

3、その他 伝えたいこと

- ・お忙しい中、私たちのために講座を開催してくださりありがとうございました。
- ・今日はありがとうございました。次回も機会があればよろしくお願いします。
- ・講習会を開催していただきありがとうございます。家族や友達と話している時と同じ息遣いであるという意味がよく分かりました。ご指導ありがとうございました。
- ・細かいテクニック等を教えていただきありがとうございました。朗読では「伝える」ということを何よりも意識することを心掛けたいと思いました。
- ・描かれている文章を全て変えることなく読まなければならないということや、聴く人が図を思い浮かべることのできるものでなければならないという言葉が重要だと感じた。
- ・学んだことを生かしていきたいと思います。

【先生向けアンケート】

1、アナウンス講座

(A・前半) 12月に行われた校内放送指導者講座より(生徒向け)

- ・丁寧に話していただけた。
- ・校内アナウンスの基本がよく分かりました。PowerPoint のレジュメがいただけたらよかったなと思います。最近の審査内容がよく分かりました。
- ・ゆっくり聞けなかったのですが、どこをどう力を入れたら良いかがわかるのでよかったです。今後も続けたいです。
- ・原稿作成のポイントが明確になりました。
- ・わかりやすかったです。構成も見るとしてわかりやすくなっていて、スッと入ってきました。

(A・後半) 公開指導講座

- ・短い時間でポイントを押さえての話でよかった。
- ・「語りかけるように」が自分なりにどう指導していくのかがわからなかったのですが、ちょっと掴めたように思います。
- ・「自然な喋り」については受講生徒の耳によく入ったと思います。
- ・すごくわかりやすかった。(ポイントや before → after など) システマティックな話が私は初めてだったので、とても勉強になりました。
- ・ before/after がよくわかりました。
- ・一事象一音声は、なかなか生徒にはしんどいようです。
- ・いつも以上に分かりやすかったです。特に「評価基準の歴史」のお話が興味深かったです。

2、教員向け講座

(B) アナウンス・朗読講座(教員向け)

- ・授業にもつながる内容で、大変勉強になりました。
- ・素晴らしかったです。特にアナウンス(生徒)を聞いて、どう指導していくかまで考えて指摘していくことの大切さがよくわかりました。Q&A で伝えたいことに気づかせ、語りかけるアナウンスにすること!!今まで悪いところを指摘するだけして改善法を示せていなかったことに気が付きました。
- ・漠然と考えていた内容を丁寧に言語化されており、とても価値のある講座でした。
- ・文末の音声処理の説明は特にありがたかったです。
- ・朗読指導のところが特にとても腑に落ちるご説明で良かったです。
- ・ポイントやビフォーアフターなどすごくわかりやすくシステマティックで勉強になりました。
- ・後半の朗読について、もっと教えていただけたら、と思います。
- ・とても勉強になりました。

3、午後の講座の感想

(C・前半) 朗読公開指導

- ・朗読もシチュエーションに合わせた音声表現の重要性がよく分かりました。違った音色で表現出来るように。
- ・直前の教員向けの講座を聞いていたので指導ポイントがよくわかった。
- ・朗読は鏡に映すように聞く人に届けるもの、単純な読み方をしてはいけない、作家の文章表現を変えない（ということがわかった。）
- ・いつも自分が感じている違和感は、こう言ったら伝わりやすいんだと勉強になりました。
- ・的確なアドバイスで、直接指導を受けていない生徒にとっても勉強になったと思います。
- ・朗読の定義と、それに従った具体的な指導で、非常によく理解できた。

(C・後半) 抽出箇所について

- ・箇所の映像があると、理解はより深まったと思う。
- ・「ここエエヤン」というところを選ぶ。取材対象にほれ込んでいるか（を考える）
- ・似たような場所でも、少し違えばこんなに違うのかと驚きました。比較がすごくわかりやすかったです。
- ・8月の音声も使われていて、いつも以上に分かりやすかったです。
- ・気づかなかった細かいところなどよくわかった。

(D) 番組講座

- ・番組作りについて非常に丁寧に説明していただきました。構成のビフォーアフターは具体的で、素人の小生にとって参考になりました。ありがとうございました。
- ・勉強になりました。
- ・具体的なアドバイスや着目すべきポイントをわかりやすく指導（指摘）いただくことができて、とても良かったです。
- ・具体例が多くてとてもわかりやすかったです。

3、その他（ご自由に）

- ・意識（向上心）の低い生徒たちをどのように動機付けしたら良いか苦心しています。
- ・できれば各講座、終了時間を合わせてほしいです。毎回のことながら当日の部員や顧問の動きに関する詳細連絡がなく、困ることが多いです。もう少し丁寧な連絡を希望します。仲山先生の教員向け講座、本当にためになりました。生徒のアナウンスの向上につながると思います。
- ・ありがとうございました。
- ・コロナ禍での実施！ありがとうございました。対面での会で、さまざまなお心遣いに感謝です。

大阪府高校放送コンテスト

実施要項



0 はじめに(大会テーマ)

「私たち高校生と放送」

高校生の連帯、先生方とのきずな、地域や社会への結びつきを、日常生活の中で考え、主体的に放送活動に展開すること。

(注) 決勝会場未定(府内の高等学校を予定)。
なお、今後の状況によっては、決勝についても録音やメディア審査等として非公開となる可能性もある。

1 主催

大阪府高等学校視聴覚教育研究会

2 実施部門

- (1) アナウンス部門
- (2) 朗読部門
- (3) ラジオドキュメント部門
- (4) テレビドキュメント部門
- (5) 創作ラジオドラマ部門
- (6) 創作テレビドラマ部門
- (7) 校内放送活動研究発表会

3 大会実施日・実施形式

- (1) アナウンス・朗読部門
 - 予選 8月8日・9日 **録音審査(非公開)**
 - 8月10日(月) **Web上で結果発表**
 - 決勝 8月12日(水) 公開審査 (注)
- (2) すべての番組部門
 - 予選 8月22日 **メディア審査(非公開)**
 - 8月22日(土) **Web上で結果発表**
 - 決勝 8月23日(日) 公開審査 (注)
- (3) 校内放送活動研究発表会
 - 予選 8月22日 **書類審査(非公開)**
 - 8月22日(土) **Web上で結果発表**
 - 決勝 8月23日(日) ライブ発表 (注)

4 コンテスト各部門の課題(実施要項)

基本としては、各校に送付済みの第67回NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会実施要項(令和2年4月1日付け大阪高視研第0201号)に準じて行う。この要項からの変更点は**網掛け**にて示す。なお、以下「NHK杯」とは、中止となった第67回NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会のことを示す。

(1) アナウンス部門

(ア) アナウンスする内容は、自校ニュースなど校内放送に使用するものとし、原稿はこの大会**またはNHK杯**のために新しく生徒が自作したものに限り、また作品は、**公開**されることを前提に、表現方法などに留意すること。

(イ) 審査番号を含め、1分10秒以上1分25秒以内でアナウンスする。(大阪大会では名前を読まない。)

(ウ) 申込み後、**原稿とアナウンスの音声データ**を大会所定の形式で電子メールにて提出する。提出後の改変は認めない。

(エ) 予選を通過した場合、原稿の手直しは認めるが、テーマの変更は認めない。

(オ) 決勝の発表では、原稿に続けて課題原稿をアナウンスする。なお、課題原稿は発表時間には含まないが、審査の対象になる。

(カ) その他は、**NHK杯**要項に準ずる。

(2)朗読部門

- (ア) NHK杯の指定作品の中から1編を選び、発表にふさわしい箇所を任意抽出し、規定時間内で朗読する。また作品は、**公開**されることを前提に、抽出箇所などに留意すること。指定作品や抽出方法、その他細目については、NHK杯の要項pp.1～2を参照すること。
- (イ) 審査番号・著者名(訳者名は読まない)・作品名を含め、1分30秒以上1分50秒以内で朗読する。(発表者の名前は読まない。)
- (ウ) 申込み後、原稿と朗読の音声データを大会所定の形式で電子メールにて提出する。提出後の改変は認めない。
- (エ) 予選を通過した場合、抽出箇所の変更は認めるが、指定作品の変更は認めない。
- (オ) 決勝の発表では、原稿に続けて課題原稿を朗読する。なお、課題原稿は発表時間には含まないが、審査の対象になる。
- (カ) その他は、**NHK杯**要項に準ずる。

(3)ドキュメント部門(ラジオ/テレビ)

- (ア) 高校生活や地域社会とのかかわりの中に広く素材を求め、ラジオ・テレビの特性を生かして制作された、高校生としての視点を大切に、独創的な作品であること。また作品は、**公開**されることを前提に、表現方法などに留意すること。
- (イ) 作品(審査用・バックアップ用)及び番組進行表は、所定の形式で作成し、**期日までに送付または持参すること。**
- (ウ) **予選通過した作品は、そのまま決勝で公開審査を行う。そのため、作品が再生できない場合や、権利関係の不備や不適切な表現などで公開できないと判断された場合は決勝に進めないの注意すること。**
- (エ) その他、作品制作や著作権処理についての規定は、**NHK杯**要項に準ずる。

(4)創作ドラマ部門(ラジオ/テレビ)

- (ア) 脚本は参加資格を有する自校生徒のオリジナル作品であること。文芸作品などからの脚色や改作は認めない。出演者は自校生徒に限る。また作品は、**公開**されることを前提に、表現方法などに留意すること。
 - (イ) **本年の臨時休校による影響を配慮し、本部門のみ、2020(令和2)年2月29日現在に在籍中の生徒であれば、当該生徒が在籍中に制作した範囲においては参加資格を有するものとする。ただし、当該生徒の承諾を取っておくこと。**
 - (ウ) 作品(審査用・バックアップ用)及び番組進行表は、所定の形式で作成し、**期日までに送付または持参すること。**
 - (エ) **予選通過した作品は、そのまま決勝で公開審査を行う。そのため、作品が再生できない場合や、権利関係の不備や不適切な表現などで公開できないと判断された場合は決勝に進めないの注意すること。**
 - (オ) その他、作品制作や著作権処理についての規定は、**NHK杯**要項に準ずる。
- ## (5)校内放送活動研究発表会
- (ア) 日常の校内放送活動の中から、問題解決の努力または技術的な創意工夫などを発表する機会を設け、各学校が持っている問題を共有し、ともに解決する場所を提供することを目的とする。
 - (イ) 研究の目的・方法論・結論をまとめたものを、所定の「研究要旨」に入力して提出する。
 - (ウ) 進行表とPowerPointのスクリプトを所定の形式で作成し、**期日までに送付または持参すること。**
 - (エ) その他、作品制作や著作権処理についての規定は、**NHK杯**要項に準ずる。
 - (オ) 詳細は当発表会への予選申込み数が確定後、改めて参加校の顧問宛に連絡する。

5 参加申込み

(1) 参加費

各部門の参加費は次の通りとする。

- ・ アナウンス・朗読部門 1名につき 1,000円
- ・ 番組部門 1作品につき 1,500円
- ・ 研究発表会 1発表につき 1,500円

いずれも次の指定口座へ振り込むこと。

ゆうちょ銀行 00960-1-328796 大阪府高校放送コンテスト委員会
--

※ 参加費は、審査・賞状用紙代、消毒薬剤費、専門職審査員費、通信費等として使用する。

(2) 手続き

次の順序で手続きを行うこと。部門ごとの提出物、提出先、締切については、別紙「申込みの流れ」も参照のこと。なお、各締切については厳守のこと。(遅れた場合は減点や失格の対象となる)

(ア) 必要なファイルや様式の入手

高視研のWebページからダウンロードする。

<https://www.koushiken.jp>

(イ) エントリー 締切7月22日

「エントリーシート」(Excel形式)に必要な事項を入力し、電子メールに添付して送信する。

(ウ) 参加費の支払い 締切7月28日

上記(1)の参加費を納入する。

(エ) 参加申込書等の郵送 締切7月29日

上記のエントリーシートのうち、「参加申込書」のみを印刷し、公印を押印したものと、参加費の郵便振込の受領書(コピー可)を郵送する。公印のある申込書をコンテスト委員会が受領して初めて正式な申込みとなる。

(参加費はインターネット等を利用した振替で送金してもかまわない。その場合は、その旨を記入した用紙で郵便振込の受領書に替えることができる。)

(オ) 予選プログラムの確認 8月2日頃

Web上にプログラムを掲載するので、審査番号を確認する。

(カ) 原稿の提出 締切8月6日

アナウンス・朗読部門は、それぞれの「原稿ファイル」(一太郎形式/Word形式)に必要な事項を入力し、参加者1人につき1ファイルで作成し、電子メールに添付して送信する。

ファイル名「〇〇高校-△△(名前).doc」

または「〇〇高校-△△(名前).jtd」

例：泉北高校-西田.doc

(キ) 読みの録音データ提出 締切8月6日

規定に従ってアナウンス・朗読した音声を録音し、電子メールに添付して送信する。録音方法などについては詳しくは、次ページの「6 読みの録音について」を参照すること。

(ク) 決勝用原稿の提出 当日持参

アナウンス・朗読部門で決勝に進出した場合は、予選と同じ様式で作成した原稿を印刷して決勝当日に持参し提出すること。朗読部門は、指定作品の本の抽出部分をコピーして(抽出部分を赤で囲んでおくこと)原稿とともに提出すること。なお、予選時からの原稿の手直しは認めるが、4(1)の(エ)、(2)の(エ)を参照すること。

(ケ) 研究要旨の提出 締切8月21日

校内放送研究発表会は、「研究要旨」(Excel形式)に必要な事項を入力の上、電子メールに添付して送信する。

(コ) 作品・番組進行表の提出 締切8月21日

すべての番組部門は、規定に従って作成したCD-R/DVD-R(審査用とバックアップ用の2枚)及び番組進行表を事前に提出する。番組進行表には、著作権関係の書類も必ず添付すること。

(サ) 発表用データの提出 締切8月21日

校内放送研究発表会は、規定に従って作成した進行表と、発表に用いるPowerPointのスク립トを事前に提出する。詳しくは研究発表会の参加校の顧問宛に別途連絡する。

6 読みの録音について

アナウンス・朗読部門については、以下に示す方法で読みを録音し、そのデータを電子メールで送信すること。

(1) 音声形式

できるだけmp3形式(モノラル・192bps推奨)、またはwma形式(モノラル・44.1kHz推奨)

これら以外の形式でも可とする。(これら以外の形式で録音した場合で再生できない時は8月7日の午後に顧問宛に電話連絡する)

録音は、ICレコーダーでもスマホでもビデオカメラでもどんな機器を用いても構わない。音質、録音技術の善し悪しや音声形式の違いは審査に影響しないものとする。

(2) 録音内容

できるだけ静かな環境で、次の通り録音する。音声のみとし、BGMやSEは使用しないこと。

・アナウンスの場合

審査番号＋本文

(例) 「A6番 放送部の最大の公式戦は…」

・朗読の場合

審査番号＋著者名＋作品名＋本文

(例) 「C24番 山本周五郎著 柳橋物語
青みを帯びた皮の、まだ…」

(3) 録音時間

録音の第一声(審査番号)から、本文の終わりまでの時間が規定の時間に収まることを、(画面上ではなく)必ず再生して確認すること。審査時に再生して規定の時間に収まっていない場合には、減点や失格の対象となる。

(4) ファイル名

上記の方法にて録音した音声ファイルは、次のようにファイル名を付けること

審査番号－名前 (審査番号は英字＋数字2桁)

(例) A06－中井 C24－小畑

(5) 提出

電子メールに添付して送信する。電子メールは、容量の大きい添付ファイルは送れないことが多

いので、3～5人ずつに分けて送信するなど、工夫すること。

(6) 注意

(ア) 審査番号は、英字＋数字2桁で示される。

・録音時は、英字も含めて読むこと。十の位が0の場合は読まなくても良い。

・ファイル名は、英字＋数字2桁のまま(十の位の0も含めて)入力すること。

(例) 審査番号 D04の場合

読みは「D4番 ……」

ファイル名は D04－(自分の名前)

(イ) 原稿ファイルと実際の読みについて

両者の間に違いがあれば、減点や失格の対象となる。今回は、原稿ファイルと読みの音声データの提出締切が同じ日なので、提出前に両者に違いがないかを確認することを強く勧める。

7 申込み先

(1) 電子メール

n-con@koushiken.jp

(申込専用アドレス)

件名は「〇〇高校(略称可)」とすること

送信後、受信完了という電子メールが自動返信されるので、必ず確認すること。5分経っても受信完了メールが届かない場合は、メールがうまく送信されていない可能性があるので、時間を空けて再度送信するか、問合せること。

(2) 送付先・提出先

放送コンテスト委員会事務局

〒557-0062

大阪市西成区津守1-13-10

大阪府立西成高等学校 小畑敦彦

TEL 06-6562-5751

FAX 06-6561-3028

E-Mail obata@koushiken.jp

封筒には「放送コンテスト申込」と朱書のこと

2020年度 大阪府高校放送コンテスト 決勝結果一覧

2020/08/12・08/23 実施

アナウンス部門

結果	審査順	学校名	参加者名
1位	6	プール	岡 田 羽 叶
2位	3	相 愛	神 舘 光
3位	9	桜 塚	高 橋 奈 甫
4位	10	四 天	瀬 戸 日奈子
5位	2	プール	辻 野 結 衣
6位	8	夕陽学	坂 本 遥 菜
入選	1	成 美	藤 村 あかり
入選	4	池 田	柴 田 聖 羅
入選	5	箕 面	大 出 菜々美
入選	7	相 愛	安 田 あま音
入選	11	帝塚山	小鍛冶 奈 々

朗読部門

結果	審査順	学校名	参加者名
1位	16	大市立	殿 川 美貴子
2位	11	帝塚山	和 田 乙 希
3位	21	四 天	濱 下 日菜子
4位	23	相 愛	神 舘 広 海
5位	22	箕面自	後 藤 卓 也
6位	12	四 天	高 橋 悠希子
入選	8	プール	冨 田 麻 衣
入選	17	槻の木	宮 崎 美 咲
入選	19	大市立	木 下 皓 太

ラジオドキュメント部門

結果	審査順	学校名	作品名
1位	1	四天	もう一度
2位	2	成美	誇りをもって

創作ラジオドラマ部門

結果	審査順	学校名	作品名
1位	1	今宮工	ドッペルゲンガー
2位	3	箕面自	白恋 (はくれん)
3位	2	金剛	魔法のブレスレット
入選	4	今宮工	マリオネット

※ 激戦！ 1位～3位まで3点差！（500点満点中）

テレビドキュメント部門

結果	審査順	学校名	作品名
1位	1	阪南大	臨時休校—そのとき高校は—
2位	2	箕面	ブラック高校生

創作テレビドラマ部門

結果	審査順	学校名	作品名
1位	2	槻の木	差し伸べられた掌
2位	1	箕面自	ハートブレイク

総合優秀校

1位	47点	四天王寺高校
2位	40点	箕面自由学園高校
3位	21点	府立槻の木高校

(第67回NHK杯に替わる) 大阪府高校放送コンテスト 参加状況一覧

表1

表1

受付 番号	学 校 名	略 称	代表顧問	参加 人数	研究発表会		アナウンス		朗 読		ラジオドキュメ		ラジオドラマ		TVドラマ		合 計		略 称	受付 番号				
					参加	決勝 入賞	参加	決勝 入賞	参加	決勝 入賞	参加	決勝 入賞	参加	決勝 入賞	参加	決勝 入賞	参加	決勝 入賞			参加	決勝 入賞		
1	府立桜塚	桜 塚	田名瀬 さゆり	1			1	1	2								1	1	2	桜 塚	1			
2	大阪市立南	市立南	松井 かをり	2						2							2			市立南	2			
3	府立池田	池 田	久下 哲也	1			1	1									1	1		池 田	3			
4	府立箕面	箕 面	加藤 奈穂	11			4	1									6	2	1	箕 面	4			
5	府立茨木	茨 木	永田 博和	7						2	1						2	1		茨 木	5			
6	帝塚山学院	帝塚山	大賀 陽子	10			1	1		9	3	1					10	4	1	帝塚山	6			
7	アサンブション国際	アサ国	濱口 昌紘	6						3	2						3	2		アサ国	7			
8	プール学院	プー	勝見 昌浩	6			2	2	1	2	1						4	3	1	プー	8			
9	四天王寺東	四天東	伊藤 元也	6						3							5			四天東	9			
10	箕面自由学園	箕面自	山中 華	15						7	1	1		1	1	1	10	3	3	箕面自	10			
11	大阪市立	大市立	秋本 みゆき	16						8	2	1					8	2	1	大市立	11			
12	大阪信愛学院	信 愛	島 敏	5						4	1						5	1		信 愛	12			
13	大阪夕陽丘学園	夕陽学	中井 勝久	12				5	1	1	2	1					7	2	1	夕陽学	13			
14	四天王寺	四 天	三原 彰仁	11				1	1	1	9	3	2	1	1	1	11	5	4	四 天	14			
15	府立今宮工科	今宮工	伴 慎一	7										2	2	1	2	2	1	今宮工	15			
16	近畿大学附属	近大附	猪奥 崇	13						1							1			近大附	16			
17	府立枚方津田	津 田	佐藤 正弘	5						1							1			津 田	17			
18	上宮	上 宮	山崎 烈統	25						1							2			上 宮	18			
19	府立金剛	金 剛	中村 正人	3						2							5	1	1	金 剛	19			
20	府立東淀川	東淀川	森井 佳津子	4						4							4			東淀川	20			
21	開明	開 明	小椋 晴紀	5						3				1			4			開 明	21			
22	桃山学院	桃 山	阪本 純治	7				2		5							9			桃 山	22			
23	府立槻の木	槻の木	戸野 佑亮	7				1		3	1				1	1	5	2	1	槻の木	23			
24	相愛	相 愛	竹中 泰子	8				2	2	1	3	2	1				5	4	2	相 愛	24			
25	浪速	浪 速	山本 武彦	17				2		9	4						12	4		浪 速	25			
26	松陰	松 陰	吉田 優実	1						1							1			松 陰	26			
27	府立成美	成 美	太田 祥貴	7				1	1			1	1	1			2	2	1	成 美	27			
28	府立堺西	堺 西	酒井 学	8						4	1						5	1		堺 西	28			
29	府立西成	西 成	姫路 裕敏	5				2		3							5			西 成	29			
30	府立天王寺	天王寺	我那覇 剛	10				1		3							4			天王寺	30			
31	阪南大高	阪南大	藤田 大輔	4				2									3	1	1	阪南大	31			
		学 校 数		31	0	0	0	18	9	5	25	13	5	2	2	2	9	3	3	2	2	31	20	14
		総 数		245	0	0	0	32	11	6	94	23	6	2	2	2	12	4	3	2	2	145	44	21

大阪府高校放送コンテストの報告

(第 67 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト大阪大会の代替として開催)

放送コンテスト委員会

今年度は、昨年春からの「新型コロナウイルス」である“SARS-CoV2”による感染症“COVID-19”の拡大の影響で、学校行事や多くの大会が取りやめや「無観客」での開催になりました。放送部の一大イベントで、例年夏に行われる「NHK 杯全国高校放送コンテスト」も取りやめになりました。しかし、生徒の発表の機会を作ろうということで、8月に大阪府の独自の大会ではありますが、感染症への感染防止対策を万全にして、表題の大会を行うことができました。それについて、報告をします。

実施日 アナウンス・朗読部門

予選 8月8日(土)～9日(日) データによる非公開審査

決勝 8月12日(水) ライブ発表による公開審査

会場：大阪夕陽丘学園高等学校

番組部門

予選 8月22日(土) 録音物による非公開審査

決勝 8月23日(日) ライブ発表による公開審査

会場：大阪府立今宮工科高等学校

予選 参加校（エントリー） 31校 245名(作品)

ここから 20校 62名(作品)が決勝に進出

決勝

〔アナウンス決勝課題〕

和歌山県南部にある古座川町の果樹園で、ブルーベリーが収穫の時期を迎え、地元の子どもたちが収穫作業を体験しました。

古座川町三尾川（みとがわ）の農家、坂本米男（よねお）さんは、休耕田を利用して、およそ300本のブルーベリーの木を育てています。

毎年、ブルーベリーが実をつけるこの時期に、地元の子どもたちを収穫体験に招いていて、今日は、近くの小学校や保育所から14人が集まりました。

子どもたちは、用意された消毒液で手をきれいにしたあと、坂本さんに教わりながら、大きく育ったブルーベリーの実を一つ一つ丁寧に摘み取っていました。

そして、紫色の実を口いっぱいほおぼって、「ブドウのような味がして、甘くておいしい」などと笑顔で話していました。

坂本さんは、「ことしのブルーベリーは、とてもよく育っています。子どもたちが喜んで収穫してくれて、私もうれしいです」と話していました。

坂本さんの果樹園のブルーベリーの収穫は、来月下旬まで続くということです。

〔朗読決勝課題〕

翌日、鶴瓶さんから電話があった。

「なあ源」

「はい」

「これから俺モントリオールに行くんや、映画の仕事でな」

「そうなんですか」

「生きとればな、俺みたいにおもしろい仕事できるわ。しっかり治して来いや」

カッコいい師匠である。 (星野 源「よみがえる変態」中「楽しい地獄だより」)

審査員<敬称略>

<アナウンス・朗読部門>

仲山豊秋（元NHKアナウンサー・元立命館大学教授）、西田恵二（大阪府立泉北高校長：高視研会長）、
秋本みゆき（大阪市立高校：高視研役員）、伊藤元也（四天王寺東高校：高視研役員）、
田名瀬さゆり（府立桜塚高校：高視研役員）、竹中泰子（相愛高校）、安田知博（「放送部インストラクター」）
計時担当：松田朋子（大阪府立みどり清朋高校：高視研役員）

<番組制作部門>

井村慎介（株式会社関西テレビ放送）、西田恵二（大阪府立泉北高校長：高視研会長）、
伊藤元也（四天王寺東高校：高視研役員）、鎌田 潤（大阪府立芥川高校）、
久下哲也（大阪府立池田高校：高視研役員）、戸野佑亮（大阪府立槻の木高校：高視研役員）、
中井勝久（大阪夕陽丘学園高校：高視研役員）
計時・著作権処理確認担当：秋本みゆき（大阪市立高校：高視研役員）、
酒井 学 （大阪府立堺西高校：高視研役員）

決勝の結果は別表に示します。

今回は「全国大会への推薦」はありません。その中でも31校が参加しました（昨年度53校）。
昨年は朗読へのエントリーは176名でしたが、94名とやはり人気の高さを見せました。番組もエントリーはいずれも大きく落ち込みました。研究発表のエントリーはありませんでした。

運営について、今回予選では、審査をお願いできる先生を募り、アナウンス・朗読部門は、アナウンス1グループ、朗読3グループに分け、審査員6名（うち1名は計時・原稿担当）で対応しました。決勝にはアナウンス11名、朗読は3グループあわせて23名が進みました。番組部門では、ラジオドラマ1グループ、それ以外1グループに分け、審査員6名（うち1名は著作権担当）で審査しました。

決勝は、アナウンス・朗読部門では朗読を2グループに分け、3つのグループで発表・審査を行いました。
審査委員長をお願いした仲山先生には、講評を3回お願いしました。

番組部門では、こちらも審査委員長をお願いした井村先生による「ミニ技術講座」も行いました。

いずれも、発表者のほかに顧問または付き添いの生徒1名と人数を制限しました。アナウンス・朗読部門では、発表後のマイクやテーブルの消毒をその都度行いました。

結果発表は後日 Web でということになりましたが、やはりライブ開催は生徒たちが生き生きとしていて、運営側として開催ができて本当に良かったです。

次年度の68回全国大会は、いまのところ「データ審査」を前提に進められています。

今回の運営を振り返り、次回に向けて検討していきたいと思います。

（大阪夕陽丘学園高等学校 中井勝久）

第 41 回大阪府高等学校芸術文化祭 放送文化部門 参加要項

1 目的

来年 8 月 4～5 日に和歌山県で行われる第 45 回全国高等学校総合文化祭（紀の国わかやま総文）における大阪府代表の選考を行うとともに、番組の発表の機会を設ける。

2 日時

令和 2 年 11 月 3 日（火・祝） 9:30～16:45

時程（参加数によっては変更することもある）

9:30～10:00	朗読部門受付
10:00～10:15	開会式
10:20～12:30	朗読部門公開審査 番組部門・番組自由部門非公開審査
13:00～13:15	アナウンス部門受付
13:20～15:30	アナウンス部門公開審査
15:30～16:45	結果発表 表彰 閉会式 代表推薦者・推薦校への連絡

3 会場

大阪私学会館

大阪市都島区網島町 6-20

JR 東西線 大阪城北詰駅 3 番出口から西へ 100m

(<http://osaka-shigaku.gr.jp/kaikan/access/>)

4 参加資格

大阪府高等学校芸術文化連盟に加盟する府内の高等学校等（学校教育法における高等学校および高等学校に準ずる学校）に在籍する生徒および大阪府高等学校芸術文化連盟が特に認めた学校に在籍する生徒。

5 実施部門と参加制限

(1) アナウンス部門

高校 1, 2 年生に限る。各校 3 人以内。

(2) 朗読部門

高校 1, 2 年生に限る。各校 3 人以内。

(3) ラジオ番組部門

制作代表者は高校 1, 2 年生に限る。各校 2 本以内。

(4) テレビ番組部門

制作代表者は高校 1, 2 年生に限る。各校 2 本以内。

(5) 番組自由部門

各校 2 本以内。

6 各部門の参加規定

(0) 全部門共通の注意

- ・作品の内容は人権尊重に配慮したものであり、高校生として品位のあるものであること。
- ・全日制、定時制など課程が異なる場合は、申込みを別の学校としてカウントする。
- ・「郷土」とは、大阪府内をさす。
- ・原稿・作品は、この大会のために新しく生徒が自作したものに限る。（番組自由部門を除く）
- ・原稿等の様式は、大阪府高等学校視聴覚教育研究会の Web ページからダウンロードしたものを使用し、A4 版に片面印刷して当日の受付で提出する。なお、フォントサイズ等の書式は変えないこと。
- ・発表・再生は、会場にある機器を用いて行う。
- ・番組部門の審査時、音声はモノラル再生となることがある。
- ・「紀の国わかやま総文」の放送部門への出場者・出場校は、本大会の結果をもとに選考する。ただし、ラジオ番組部門は「オーディオピクチャー部門」、テレビ番組部門は「ビデオメッセージ部門」の選考とし、番組自由部門は「紀の国わかやま総文」への選考としない。また、本大会後に「紀の国わかやま総文」に向けて、原稿・作品を新たに作成し直すことも可とする。

(1) アナウンス部門

- (ア) 郷土の話題を高校生に伝える内容の原稿を作成し、発表する。
- (イ) 審査番号を含め、1 分以内でアナウンスする。学校名や名前は読まない。
- (ウ) 所定の書式（様式 2a）を使用した審査用原稿を、当日受付時に 1 部提出する。
- (エ) 当日の参加可能人数は、各校アナウンス部門参加者+生徒 1 人+顧問に制限する。

(2) 朗読部門

- (ア) 郷土にゆかりのある作者の作品、または郷土を舞台とした作品の中から、原文の一部を選んで原稿とし、発表する。原文の脚色・改変は認めない。
- (イ) 審査番号・著者名・作品名を含めて 1 分 15 秒以内で朗読する。学校名や名前は読まない。
- (ウ) 所定の書式（様式 2b）を使用した審査用原稿を、当日受付時に 1 部提出する。さらに、作品原本の抽出部分のコピーも 1 部提出する（抽出部分がわ

かるように赤で囲んでおく。

- (エ) 当日の参加可能人数は、各校朗読部門参加者＋生徒1人＋顧問に制限する。

(3) ラジオ番組部門

- (ア) 郷土の話題を高校生に伝える内容のラジオ番組を作成する。
- (イ) 作品の発表時間は5分以内とする。
- (ウ) 作品は、CD-DA形式（音楽CDと同じ形式）で録音されたCD-Rで提出する。
- (エ) 作品提出については8(6)を参照のこと。

(4) テレビ番組部門

- (ア) 郷土の話題を高校生に伝える内容のテレビ番組を作成する。
- (イ) 番組の前後に、テストパターン（形式不問）を5秒挿入する。作品の発表時間はテストパターンを含まずに5分以内とする。
- (ウ) 作品は、DVD-VIDEO形式（NTSC規格、アスペクト比16:9）で録画されたDVD-Rで提出する。メニューはつけないこと。
- (エ) 作品提出については8(6)を参照のこと。

(5) 番組自由部門

- (ア) テーマは自由とし、テレビ番組やドラマ作品の他、アニメーションやコンピュータ・グラフィックスなど幅広い作品を募集する。
- (イ) 作品の発表時間は、30分以内とする。
- (ウ) 作品は、民生機（家庭用の機器）で確実に再生可能なCD-RまたはDVD-Rで提出する。（上記(3)ラジオ番組部門、(4)テレビ番組部門に準じる）
- (エ) 作品提出については8(6)を参照のこと。
- (オ) 本部門については、来年度の「紀の国わかやま総文」への大阪府代表の選考としない。

7 放送技術講座

例年行っている放送技術講座については、本年度は当日には実施せず、別形態での実施を検討している。

なお、番組各部門に参加した作品を、放送技術講座の「教材」として使用することがある。

8 参加申込みの手順

(1) エントリー 締切り 10月17日(土)厳守

- (ア) 大阪府高等学校視聴覚教育研究会のWebページから、申込用Excelファイルをダウンロードする。
- (イ) 必要事項を入力したExcelファイルを、電子メールに添付して送付する。

(2) 参加費支払い 締切り 10月23日(金)

参加費は、1人・1作品につき500円を振り込む。

(3) 申込書等の送付 締切り 10月23日(金) 必着

- ① (1)のExcelシートのうち、「申込書」（様式1）のみを印刷し、公印を押印したもの
- ② 参加費の郵便振込の受領書（コピー可）の2つを、西成高校まで送付すること。公印のある申込書（様式1）を主催者が受領して初めて正式な申込みとなる。（参加費はネット等での振替で送金してもかまわない。その場合は、その旨を記入した用紙で郵便振込受領書に替えることができる）

(4) 確認FAXの受信 10月20日(火)頃

申込確認書を代表顧問の先生宛にFAXする。10月23日(金)になっても届かない場合は問合せ先まで連絡すること。

(5) プログラム(審査番号)の確認 10月28日(水)頃

大阪府高等学校視聴覚教育研究会のWebページにプログラムを発表するので、審査番号を確認する。

(6) 番組部門の作品等提出 11月2日(月)必着

- ① 作品のメディア（CD-RまたはDVD-R）2枚
- ② 「著作権等処理一覧」（様式3）1部
- の2つを、西成高校まで送付または持参すること。

9 申込み先等

(1) 視聴覚教育研究会のWebページ

<http://www.koushiken.jp>

(2) 電子メール送り先

kouza@koushiken.jp（申込み専用アドレス）
メールの件名は学校名（略称可）とすること。

このアドレスへ送信すると、受信完了というメールが自動返信される。5分経っても受信完了メールが届かない場合は、メールがうまく送信されていない可能性があるので、時間を空けて再度送信するか、下記まで問合せること。

(3) 振込先

ゆうちょ銀行 00960-1-328796

加入者名「大阪府高校放送コンテスト委員会」
（振込手数料は各校で負担のこと）

(4) 送付先・問合せ先

〒557-0062 大阪市西成区津守1-13-10

（南海高野線（汐見橋線）津守駅から徒歩70m）

大阪府立西成高等学校 小畑 敦彦

TEL 06-6562-5751 FAX 06-6561-3028

（送付時は、封筒に「放送文化部門申込」と朱記）

10 暴風警報等発表の際の扱いについて

11月3日の午前7時現在、大阪市地域に「暴風警報」もしくは「特別警報」が発表されている場合は、大会を中止する。その後の扱いについては別途連絡する。

11 個人情報・肖像権の取り扱いについて

- ・大阪府高等学校芸術文化連盟が、各参加部門申込書等により取得した名前等の個人情報は、情報提供、PR及び記録のため、以下の出版物及び作品表示に利用する。

「各部門プログラム」「芸文連活動の記録」

「芸文連ニュース」「芸文連ホームページ」など

なお、個人情報は本人からの申し出により、出版物等へ利用しないことがある。

- ・大阪府高等学校芸術文化連盟が、本文文化祭期間中に撮影した参加者等の肖像は、PR及び記録のため、以下の出版物に利用することがある。

「各部門プログラム」「芸文連活動の記録」

「芸文連ニュース」「芸文連ホームページ」など

なお、個人情報は本人からの申し出により、出版物等へ利用しないことがある。

12 その他

- ・新型コロナウイルス感染防止の観点から、大会の実施形態を変更する（録音審査や、非公開審査など）可能性があります。突然の変更がある点についてはご理解をお願いします。すべての情報は視聴覚教育研究会のWebページで告知するので、こまめな確認をお願いします。
- ・大会当日は、顧問の先生または代理の先生の引率を必ずお願いいたします。
- ・顧問の先生方に審査員や運営のお手伝いをお願いする場合がありますのでご了承ください。審査員をお願いする先生方には事前にご連絡いたします。
- ・各申込みの期日は厳守してください。また、提出物は記入漏れや様式違反のないように注意してください。場合によっては減点や失格の対象となる場合があります。
- ・アナウンス部門と朗読部門は、同一人が両方の部門に参加することはできません。
- ・当日の受付時刻に間に合わなかった場合は棄権とします。（交通遮断等参加者に非のない場合を除く）
- ・当日、公的な理由（検定試験・学校行事など）により受付時刻に間に合わないことが予想される場合、

申込み時に申し出てください。受付時刻・審査順等について配慮をします。ただし、朗読・アナウンスの審査終了時に間に合わなかった場合は棄権とし、録音審査は行いません。また、申込み後の申し出は受け付けません。

- ・アナウンス部門の上位者は、来年1月23日（土）に予定されている大阪府高等学校芸術文化祭の開会行事において、司会者として、または各部門紹介時のアナウンス担当者として推薦します。
- ・番組の各部門は、当日に会場の機器で再生できないと失格となってしまいます。制作したCD-RやDVD-Rは、パソコンでない民生機の複数のプレーヤーで再生できることを必ず確認しておいてください。
- ・著作権、肖像権、プライバシー等、権利者の許諾が必要な場合は、各校で責任を持って手続きを行ってください。万が一権利の侵害から生じるトラブルが発生した場合は各校で対応してください。主催者側は一切の責任を負いません。

13 問合せ先

(1) 番組自由部門

放送文化部会事務局

大阪府立摂津高等学校

社会科 佐々木 孝夫

〒566-0033 摂津市学園町1-5-1

電 話 072-635-1441

FAX 072-634-1472

(2) アナウンス部門・朗読部門・番組部門

大阪府立桜塚高等学校

数学科 田名瀬 さゆり

〒561-0881 豊中市中桜塚4-1-1

電 話 06-6853-2244

FAX 06-6853-0825

(3) 申込み関係

大阪府立西成高等学校

理 科 小畑 敦彦

〒557-0062 大阪市西成区津守1-13-10

電 話 06-6562-5751

FAX 06-6561-3028

メール obata@koushiken.jp

2020年度
第41回大阪府高等学校芸術文化祭 放送文化部門
優秀賞・奨励賞 一覧

2020/11/03 実施

は 来年度実施の「2021紀の国わかやま総文」へ大阪府代表として推薦する

朗読部門

	審査順	校名	名前
優秀賞	7	帝塚山学院	佐々木 美 緑
	8	夕陽丘学園	植 村 沙 羅
	39	帝塚山学院	和 田 乙 希
奨励賞	3	アサンプション国際	永 野 春 陽
	5	浪速	刀 禰 まどか
	15	信愛学院	大 谷 瑚 々

アナウンス部門

	審査順	校名	名前
優秀賞	5	相愛	神 舘 広 海
	8	プール学院	辻 野 結 衣
	14	桃山学院	今 涼 香
奨励賞	6	府立箕面	安 井 梨 乃
	17	府立箕面	大 出 菜々美
	22	相愛	吉 澤 舞友名

ラジオ番組部門

	審査順	校名	作品名
優秀賞	6	四天王寺	響け、黄金の音
奨励賞	1	浪速	大阪名物 粟おこし
	2	府立箕面	人生を変える1ページ
	3	箕面自由学園	鼓吹
	4	夕陽丘学園	タニマチ
	5	府立箕面	高校生の高校生による高校生のためのラジオ

テレビ番組部門

	審査順	校名	作品名
優秀賞	3	大阪市立	府立いちりつ誕生へ～変わるもの変わらないもの～
	4	府立堺西	イズミのガラス
奨励賞	1	箕面自由学園	ゆずる日和
	2	府立箕面	紅
	5	箕面自由学園	SDGs未来都市～2030年への道～

(当日の審査順)

第41回大阪府高等学校芸術文化祭 放送文化部門 参加状況

学校 番号	学校名	学校略	顧問	参加 人数	アナ ウンス	朗読	ラジオ 番組	TV 番組	作品 自由
1	プール学院高等学校	プール	勝見 昌浩	5	3				
2	帝塚山学院高等学校	帝塚山	森本 小規子	7	3	3			
3	宣真高等学校	宣 真	清水 明澄	5	3				
4	大阪府立枚方津田高等学校	津 田	佐藤 正弘	6		1			
5	大阪府立箕面高等学校	府箕面	加藤 奈穂	7	3	1	2	1	
6	大阪市立高等学校	大市立	秋本 みゆき	6		3		1	
7	桃山学院高等学校	桃 山	阪本 純治	7	3	3			
8	大阪夕陽丘学園高等学校	夕陽学	中井 勝久	15	3	3	1		
9	相愛高等学校	相 愛	竹中 泰子	6	2				
10	大阪府立布施高等学校	布 施	梅田 堅司	4		3			
11	大阪信愛学院高等学校	信 愛	島 敏	7	3	3			
12	四天王寺東高等学校	四天東	伊藤 元也	6	2	3			
13	アサンプシヨン国際高等学校	アサ国	濱口 昌紘	4		3			
14	浪速高等学校	浪 速	山本 武彦	20	3	3	1		
15	四天王寺高等学校	四 天	三原 彰仁	10	3	3	1		
16	東海大学付属大阪仰星高等学校	仰 星	瓦林 朗	10	3	1			
17	大阪府立堺西高等学校	堺 西	酒井 学	9		3		1	
18	箕面自由学園高等学校	箕面自	山中 華	9	1	3	1	2	
参加校数				18	13	15	5	4	0
総 数				143	35	39	6	5	0

全総文（第４４回全国高等学校総合文化祭高知大会）放送部門報告

第４４回全国高等学校総合文化祭「こうち総文」は、令和２年７月３１日（金）～１０月３１日（土）に、新型コロナウイルス感染防止の観点からオンラインで開催されました。

大阪府からは下記の出場者、出場校が代表として参加しました。

(1) アナウンス部門

神舘 光 （相愛）

岩倉 こはく （四天王寺）

岡田 羽叶 （プール学院）**優秀賞**

(2) 朗読部門

溝口 拓翔 （箕面自由学園）

永野 春陽 （アサンプション国際）

殿川 美貴子 （大阪市立）

(3) オーディオピクチャー部門

四天王寺高校「色あせない」**優秀賞**

(4) ビデオメッセージ部門

大阪夕陽丘学園「なにわの味～パインアメ～」

近総文（第４０回近畿高等学校総合文化祭奈良大会）放送部門報告

第４０回全国高等学校総合文化祭奈良大会は、令和２年１２月１２日（土）～令和３年１月１７日（日）に、新型コロナウイルス感染防止の観点から、オンラインで開催されました。

大阪府からは下記の出場者、出場校が代表として参加しました。

(1) アナウンス部門

辻野結衣 （プール学院）**最優秀賞**

大出菜々美 （府立箕面）

(2) 朗読部門

和田乙希 （帝塚山学院）**優秀賞**

神舘広海 （相愛）

(3) ビデオメッセージ部門

阪南大「新しい部活様式ーコロナと共に生きる部活ー」

府立槻の木「ストマック肺瀬川の日常」

＜大会および研修会＞

第 2 4 回視聴覚教育総合全国大会・第 7 1 回放送教育研究会全国大会合同大会（大阪大会）

（第 7 0 回近畿学校視聴覚教育研究大会・第 6 9 回近畿放送教育研究大会を兼ねる）

報告

ネットワーク社会におけるメディアとヒューマンコミュニケーション
大会テーマ「情報と向き合い、自らを見つめ、ともに学びともに育つ新たな創造
ICT・プログラミング・メディアを学びの友として」

令和 2 年 1 1 月 1 3 日（金）～ 1 4 日（土）

＜ 1 日 目 ＞ 公開授業・研究発表をライブ中継やオンライン配信で視聴

◎大阪夕陽丘学園高等学校

2 年 総合的な探究 企業インターンワーク（発表に向けた準備） 高谷 昌樹

1 年 総合的な探究 SDGs ワーク（発表またはその準備） 長谷川 誠

公開校の取り組み 指導講師 関西大学教授 黒上晴夫

◎箕面自由学園高等学校

1 年 国語 伊勢物語 『芥川』 『10min ボックス古文・漢文』 伊勢物語 野畑 希和子

2 年 物理 運動量保存則 『大科学実験』 実験 69 降りると進む満員列車 山口 哲司

2 年 世界史 ギリシャと都市国家 『NHK 高校講座 世界史』 大東 範行

研究発表「視聴覚教材・放送教材を活用した授業づくり及び新型コロナ禍における教育活動実践報告」（西森 利彦）

公開校の取り組み 指導講師 関西大学教授 小柳和喜雄

＜ 2 日 目 ＞

◇実践発表 9 : 0 0 ～ 1 0 : 3 0 Zoom 開催

田中 智晴（桃山学院高等学校）

「スモールステップ 将来性・汎用性を重視した ICT 活用」

植田 泰司（奈良市立一条高等学校）

「ICT を活用した授業による生徒の変化 ～スマートフォンを学習端末として～」

井上 律己（滋賀県立日野高等学校）

「ICT 機器を用いた数学の授業について」

◇ワークショップ・セミナー 1 0 : 4 0 ～ 1 2 : 1 0 Zoom 開催

（別紙二次案内参照）

◇全体会 1 2 : 1 5 ～ 1 2 : 5 5 Zoom 開催

（別紙二次案内参照）

視聴覚・放送教育の近畿大会を兼ねた2020年の大阪全国大会は、大阪大学などを会場として大規模に実施される予定でした。しかし、世界的な新型コロナウイルスの猛威の中で実施が危ぶまれ、大会は予定を大幅に変更し、すべてをオンラインで実施されることになりました（これにともない、参加は無料となりました）。

その大変な運営の一端を、高視研としては十分に担うことができず、その大半を小学校・中学校の先生方に支えていただきました。公開授業は、大阪夕陽丘学園高校と箕面自由学園がお引き受けいただきました。また、実践発表については、高視研役員の阪本純治先生のご紹介で、桃山学院高等学校の田中智晴先生にお願いすることができました。また、実践発表当日は、高等学校部会の会場係（Zoomの司会補助）と記録係（機関紙記事のまとめ）を担当することとなり、記録係は役員の秋本みゆき先生にお願いし、会場係は久下が務めることになりました。田中先生には迅速な情報伝達ができずに大変ご迷惑をおかけしました。当日は、授業の合間をぬって発表いただき、誠にありがとうございました。秋本先生はご体調がすぐれぬ中、このような負担の大きい仕事を快くお引き受けいただき、ありがとうございました。

大会は、別紙案内のように、通常開催と同様の内容をリモートで行いました。

参加申し込みは1119名で、アクセス数は1日目は3306、2日目は2503、11月21日までの累計は7110件にも達したと報告されています。

以下、実践発表についての秋本先生によるまとめを掲載します。（以下敬称略）

報告1 田中智晴『スモールステップ 将来性・汎用性を重視したICT活用』

- (1) 学校紹介 生徒数：中学生 約330名 高校生 約2000名
教職員数：約180名（非常勤講師）

- (2) 自己紹介 担当教科：理科（生物）

- (3) 報告概要

学校として2017年の秋から「G Suite」を導入している。導入に至った理由としては、「知名度が高く、教育機関は無償で利用可」「Google Classroomをはじめとした優れたアプリ群」「生徒たちの卒業後も活用可能。（将来性）」「バージョンアップの頻度が高い。（将来性）」「特定の端末に依存しない。（汎用性）」が挙げられる。

活用のためのスモールステップとして、まずは、中学校職員室から活用を始めた。1学年3クラスを対象に、保護者の協力を得ながら、生徒各自のスマートフォンを使い、お知らせの配信、アンケートなどを行った。主にGoogle Classroomを使っていたが、保護者の評判もよく、3学年9クラス、そして、高校、クラブ活動へと活用を広げていった。

その後は、校長、教頭、部長など、学校運営に関わる教職員の間で、会議資料を共有するために活用されることになった。ペーパーレスの便利さから、教職員間でも加速度的に活用が広がり、2018年秋か

ICT端末と校内設備

- ◆ 2018年4月 中学入学生にiPad導入
- ◆ 2018年夏 校内無線LAN完備→電子黒板にChromecast接続
- ◆ 2019年4月 高校入学生にChromebook導入
上記以外の学年は個人のスマートフォンを使用



らは、全体の職員会議でも活用されることになった。つまり、導入から1年で、教職員のほとんどが Google Classroom を使えるようになったのである。初めから学校全体で活用を始めるのではなく、実験的に中学校の1学年3クラスから始めたことが良かったのではないかと考えている。

2018年・2019年には、生徒に学校指定の端末を持たせ、校内無線LANも完備することで、授業での活用の幅も広がった。現在は、BYODを取り入れ、学校指定の端末購入をやめて各個人のスマートフォンを使用するようになったが、全員に端末を持たせることができたことの意味は大きかった。

現在は、G Suiteを中心とした活用を続けており、「ファイル共有でのグループ活動」「授業内での生徒意見集約」「スライドを作成して発表」など、授業での活用の幅が広がっている。また、教職員の発案により、Google Meet・電子黒板を用いた様々な工夫もなされ、複数教室をまたがってのクイズ大会なども催されるなど、使い方の幅も広がっている。

G Suiteを活用することにより、休校期間中も、生徒との面談・ホームルームも実施可能となり、また、オンライン授業もスムーズに行うことができ、休耕期間中も教育活動をスムーズに行うことができた。

今後については、継続的な有料サービスは、ほとんど見送ることになりそうだが、単年度や回数契約の有料サービスは活用する予定である。基本的には、教職員が個人契約でサービスを受ける形態になるので、便利な海外サービスを活用している教員もいる。個人契約であるからこそ、教科によってさまざまな活用方法をとることができる。

さらなるICTの活用に向けて、教職員間での盛んな情報交換をしていきたい。また、アイデア豊富な生徒の活用方法からも学んでいきたいと考えている。

(4) 質疑応答

Q.「BYOD」で機種を指定しないということだが、何か、条件・制限はあるのか？

A.「キーボード・インカメラ・画面サイズはIpad mini以上」という指定をしている。

(5) 講評・指導助言

とても柔軟な対応をされている。

使われている先生方がどのような感触を得ているのか、授業がどのように変わってきたのかを知りたい。(→効率が上がっている。生徒側からも使い方への要望が積極的に寄せられるようになった。教科によって使い方を工夫している。今までできなかったことができるようになっていてことを実感している。)

日常的な工夫を全先生方で共有し、生徒たちをディスカッションに誘うようなノウハウのようなものが共有されていくと実践レベルで広がっていくだろう。

報告2 植田泰司『ICTを活用した授業による生徒の変化～スマートフォンを学習端末として～』

(1) 学校紹介 創立70周年 普通科7クラス(うち探究コース2クラス) 外国語クラス2クラス
ほぼ全員が進学を希望する中堅の進学校

(2) 自己紹介 担当教科：地歴科(日本史)

(3) 発表概要

奈良市立一条高等学校は、奈良市唯一の市立高校であるため、常に「将来構想」を検討することが、校内外で常に求められ、学科の統廃合を繰り返してきた。平成28年度には、民間人校長の藤原和博校長が着任し、SSS(スーパースマートスクール)を掲げて授業の改革、業務の生産性改革が始まった。授業改革の中ではアクティブラーニングが推進されることになったが、使用端末は、全員同じ端末を購入さ

せることが難しかったこともあり、BYOD の考えに基づき、生徒自身のスマートフォンを活用することとなった。その流れの中で、自身も新しい授業デザインを考えることになった。

アクティブラーニングの実践に際しては、「今まで一斉授業で伝えてきた知識をどのようにしてつたえていけばよいのか」といった「アクティブラーニングに対する危惧」があった。一方で、「生徒と知識・情報を共有すること」「歴史を、今を考えるツールにしてほしい」という思いもあり、それをアクティブラーニングの活用で解決するべく、新しい授業のデザインを考えることにした。

学校には、C ラーニングと呼ばれる共通のプラットフォームがあり、そこに動画やプリントなどを載せることができるので、生徒に動画で予習をさせておき、授業ではアクティブラーニングで再定義するという方法で実践を行った。

実践方法については、

- ・予習のための 5 分動画を配信する。

(動画は、授業の代替にならないものにする)(スクリプトも公開する)

(生徒のスマホのサイズに適した大きさ)

- ・授業では、内容によって伝え方を変える。そのために 4 つのパターンを使っている。

(比較して、共通項を見出す)

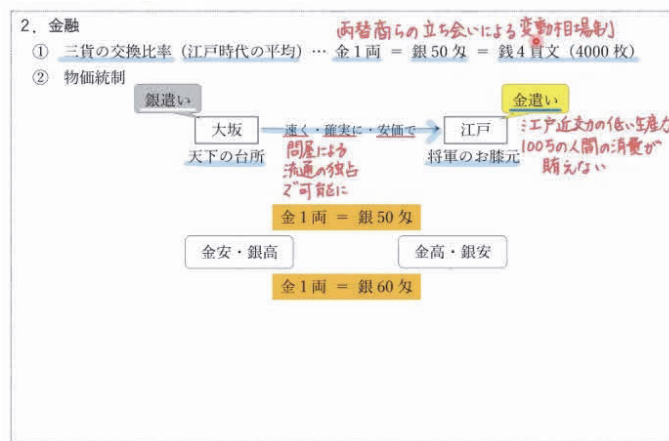
(キーワードで時代を切り取る)

(遡って考える)(仮説を立てる)

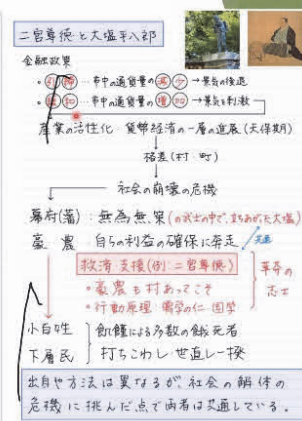
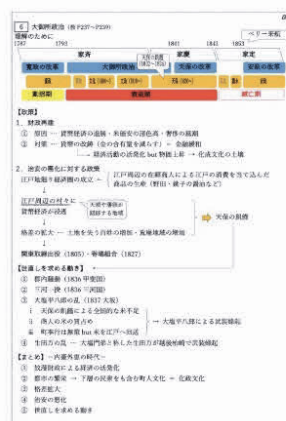
このように新しい授業デザインを考え、ICT を活用したことで、生徒にどのような変化をもたらしたか、ということについて、生徒による「授業評価」の結果を見ると、「授業を受けて、学習内容についての興味・関心が高まったと思いますか」の項目が、以前よりも高くなっていた。これは、アクティブの成果ではないかと感じている。

休校中は、全く授業ができなかったが、ICT を活用し、5 分動画配信も続け、授業も配信で続けてきた。掲示板を使い、テストを行ったところ、次のような結果となった。

休校中も、他の年度と平均点が変わらないことがわかる。ここから、2018 年度からの取り組みが、家庭学習にも生きていると言えるのではないかと思います。



比較して、共通項を見出す。



3. 実践の結果・考察

- ・緊急事態宣言に伴う休校に関して



今後について考えるために、休校明けにアンケートを実施したが、その中の「今後、また、休校になった際に、どのような教材があれば家庭学習を充実させることができますか」という問いに対して、生徒のオンラインによる対面授業を求める割合はそれほど高くないことがわかった。オンラインの対面授業と言う形態ではなく、動画とプリントの併用といった方法が家庭学習を充実させる仕掛けとなりそうである。

生徒の習熟度に合わせることができるとも ICT 活用の魅力であるので、目の前のアウトプットとも言える入試においても、アナログと併用しながら、ICT を活用していきたいと考えている。

(4) 講評・指導助言

社会科の授業では、パワーポイントを使って、虫食い型プリントを埋めていながら授業を進めることで、あたかも ICT を活用しているように思えるが、実は、その虫食い部分以外に歴史の面白さがある。植田先生の授業では、「4 つのパターン」を使い、それを生徒自身にさせていることに、アクティブラーニングの意味を持たせている。アクティブラーニングの最も重要なところは、「頭の中が、どれくらいアクティブになっているか」というところにあるが、植田先生の授業ではそれができている。非常に参考になる話でした。

報告 3 井上律己 『ICT 機器を用いた数学の授業について』

(1) 学校紹介 1 学年 4 クラス 160 名 4 つの系列がある総合学科

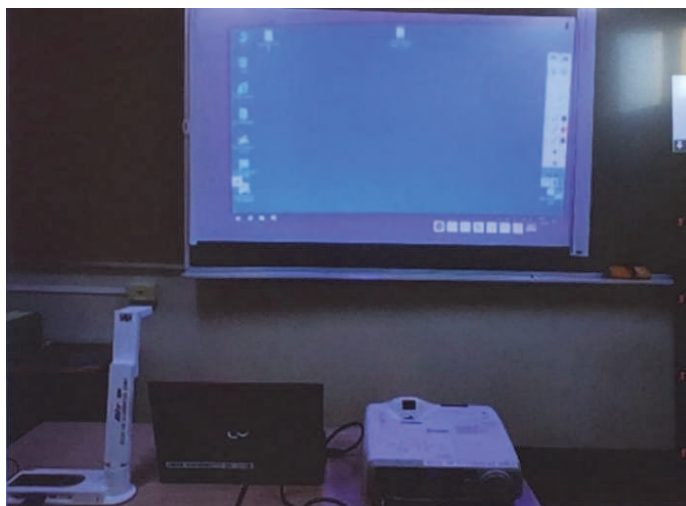
- ・ビジネス（商業） ・マルチメディア（情報） ・ヒューマン（福祉健康）
- ・アカデミック（文系・理系） 卒業後の進路は、就職・進学が半々

(2) 自己紹介 担当教科：数学科

(3) 発表概要

昨年度、滋賀銀行 SDGs 私募債により、学校に電子黒板一式が導入された。

それまで、ICT 機器を活用した授業は、マルチメディア系列では行われていたが、普通教科ではほとんど行われていなかった。ただ、滋賀県の小中学校では ICT 機器を活用した授業が熱心に行われており、生徒たちは ICT 機器を活用した環境になれていたため、電子黒板の導入は非常にありがたかった。



だが、その電子黒板を使うということになると、今まで、活用したことがなかった普通教科では、それをどのように活用すればよいのか、教員間でノウハウがなかった。そこで、自身と、もう一人、社会科の教員との二人で活用した授業を行い、公開授業をすることで、その方法を他の教員に広げ、授業力を向上させていこうということになった。

ただ、電子黒板にパソコンを接続すれば、そのまま電子黒板に示すことができるが、本校には、各教室に Wi-Fi 環境が整っておらず、事前にデータをパソコンに入れておくか、別の媒体で持っていく必要

があった。また、パソコンやコードなどを一つのケースに入れて持ち運ぶことになるが、持ち運びには適さない大きさと重さであり、自身も腰を痛めたこともあった。

電子黒板を使って授業をする際には、生徒たちに ICT 機器を活用させることを目的にするのではなく、まずは、従来の黒板だけでは教えにくかったことを教えやすくすることを目的に授業に取り組むことにした。

数学の授業で取り組んだ内容を紹介する。【2年生アカデミック系列（文系・26名）】

生徒の特性：数学を苦手とする生徒が多く、家庭で学習する習慣がないため、高校 1 年の内容が定着していない生徒もいる。授業に対しては、積極的に発言し、わからないところがあれば質問することができる。

数学への理解度：具体的な値が分かっている内容だとある程度理解できるが、一般化された公式や、文字の入った問題になるととても難しく感じてしまう傾向がある。また、分数・負の数が問題に入ると正答率が落ちる傾向がある。

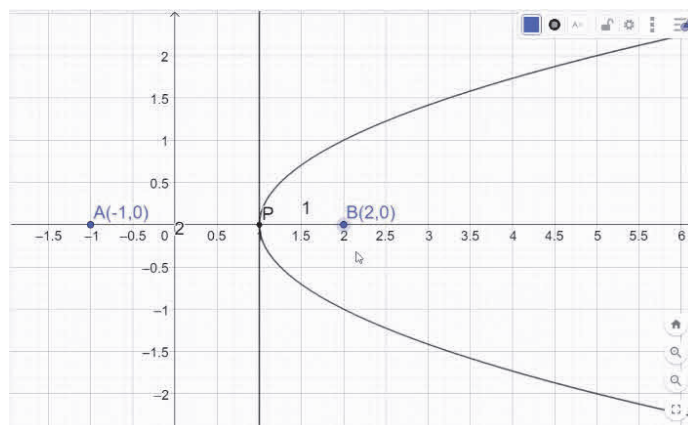
今回の授業で取り上げる内容は、図形と方程式、三角関数、指数、対数関数の分野において、グラフや図形が出てきた時に、それを式と合わせて考えていくもので、本クラスの生徒が、普段から苦手としている分野である。図形・グラフを電子黒板に投影することで、理解しやすくなるのではないかと考えて、このクラスを選び授業に取り組んだ。

設問

2 点 $A(-1,0)$, $B(2,0)$ に対して、 $AP:BP=2:1$ を満たす点 P の軌跡を求めよ。

その解について、次のような曲線を想像する生徒も多かった。

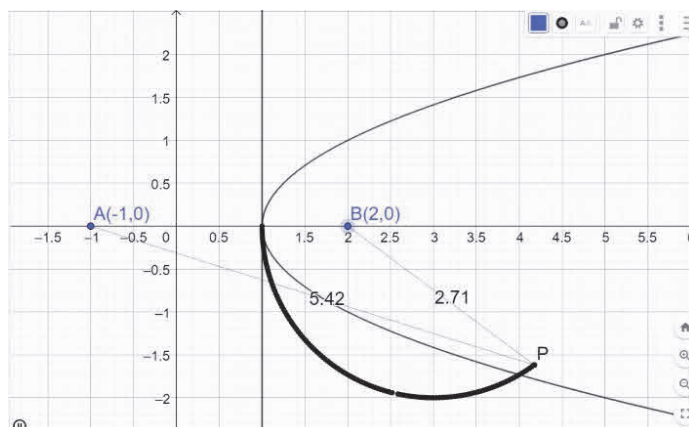
だが、これを電子黒板上で軌跡を見せると、視覚で確認することができ、生徒たちは、「点 P の軌跡は、点 $(3,0)$ を中心とする半径 2 の円である」ということを理解することができた。を視覚的に説明することができ、生徒の理解の助けになったという点で、電子黒板を使ったことによる成果であると言える。ただ、視覚的に理解できても、実際の計算ができない生徒も多く、それがこれからの課題である。



公開授業をすることで、他の先生方の電子黒板使用時間も増えてきた。

（４）講評・指導助言

孤軍奮闘な感じが伝わってきた。高等学校には温度差があることがよくわかる。もう少し、県としての取り組みが得られたら、と思う。できるだけ早く、ICT 機器の導入を進めるとともに仲間づくりを進めてください。



ネットワーク社会におけるメディアとヒューマンコミュニケーション

大会テーマ

情報と向き合い、自らを見つめ、ともに学びともに育つ新たな創造

ICT・プログラミング・メディアを学びの友として

オンライン
開催

第24回 視聴覚教育総合全国大会
第71回 放送教育研究会全国大会

合同大会
(大阪大会)

第70回近畿学校視聴覚教育研究大会・第69回近畿放送教育研究大会を兼ねる

開催日 令和2年(2020年)11月13日(金) 14日(土)

新型コロナウイルス感染拡大対策のため、学校臨時休業が続き、6月になってようやく学校の再開となりました。合同全国大会の通常開催に向けて、検討を重ねてまいりましたが、新型コロナが未だ収束しないことを考えると、全国の皆様を大阪にお招きすることは困難であると考えました。つきましては、今後活用が予想されますオンラインを利用した大会にしたいと思っております。通常大会での内容をできるだけ継承しますが、一部内容を変更します。大会参加費は無料とします。皆様のご参加をよろしくお願いいたします。

なお、以前お知らせしておりました全体会の講演(吉本新喜劇)などは中止とさせていただきます。

11月13日(金) ～ オンライン ～

【公開保育・授業】

岸和田市立岸城幼稚園
岸和田市立大宮幼稚園
岸和田市立常盤幼稚園

9:00 11:30 13:30 16:00

公開保育 (録画・ライブ中継で公開) 休憩 公開園の取り組み (Zoomによる公開)

終了しています

大阪市立阿倍野小学校
泉佐野市立第三小学校
大阪市立大和川中学校
箕面自由学園高等学校
大阪夕陽丘学園高等学校
大阪府立岸和田支援学校

13:30 15:00 17:00

公開授業 (録画・ライブ中継で公開) 公開校の取り組み (Zoomによる公開)

公開校の取り組み(研究発表) (Zoomによる公開)

大阪市立宝栄小学校

14:00 15:00

大阪市小学校教育研究会視聴覚部

公開授業 (録画で公開)

終日オンライン機器展示

11月14日(土) ～ オンライン ～

【実践発表、ワークショップ・セミナー、全体会】※生涯学習については14日(土)のみの実施になります。

9:00 10:30 10:40 12:10 12:15 12:55

実践発表 (Zoomによる公開) 休憩 ワークショップ・セミナー (Zoomによる公開) 休憩 全体会 (Zoomによる公開)

終日オンライン機器展示

主催 全国放送教育研究会連盟 NHK
視聴覚教育総合全国大会連絡協議会
(日本学校視聴覚教育連盟 全国高等学校メディア教育研究協議会 全国視聴覚教育連盟 一般財団法人日本視聴覚教育協会)
共催 近畿放送教育研究協議会 近畿学校視聴覚教育連盟 NHKサービスセンター
主管 第24回視聴覚教育総合全国大会 第71回放送教育研究会全国大会 合同大会(大阪大会)実行委員会
後援 内閣府 総務省 文部科学省 厚生労働省 日本教育メディア学会 日本教育工学会 日本教育工学協会 日本視聴覚教員連合会
(公社)映像文化製作者連盟 大阪府 京都府 兵庫県 和歌山県 滋賀県 奈良県 大阪市 京都市 神戸市 堺市 大阪府教育委員会
京都府教育委員会 兵庫県教育委員会 和歌山県教育委員会 滋賀県教育委員会 奈良県教育委員会 堺市教育委員会
豊中市教育委員会 泉佐野市教育委員会 岸和田市教育委員会 大阪府国公立幼稚園・こども園長会 大阪府小学校長会
大阪府公立中学校長会 大阪府立学校長協会 大阪市立小学校長会 大阪市立中学校長会 大阪市立高等学校長会
大阪私立中学校高等学校連合会 大阪府公立小学校教育研究会 大阪府公立中学校教育研究会 (一部申請中)

2 日目実践発表、ワークショップ・セミナー、全体会

実践発表 9:00~10:30 (A9:00~9:30 B9:30~10:00 C10:00~10:30) Zoomによる公開

テーマ	講師	発表者 A	発表者 B	発表者 C
1 幼稚園	園田学園女子大学教授 堀田 博史	大阪府貝塚市立南幼稚園 前田 梨沙 渡部 妙子	大阪府阪南市立朝日幼稚園 阪井 恵理 伊藤 千種	奈良県葛城市立新庄小学校付属幼稚園 鈴木 有香里
2 小学校 (教科)	鳴門教育大学准教授 泰山 裕	大阪市立今里小学校 田原 健之介	奈良県大和高田市立片塩小学校 竹林 大輝	広島県広島市立安小小学校 上山 慎司
3 小学校 (領域)	甲南女子大学教授 村川 雅弘	大阪府茨木市立郡小学校 角田 智隆	兵庫県たつの市立小宅小学校 大路 直也	千葉県千葉市立金沢小学校 和泉 貴裕
4 放送	兵庫教育大学教授 永田 智子	大阪市立加賀屋小学校 豊島 克己	滋賀県甲賀市立朝宮小学校 國光 祐平	宮城県仙台市立錦ヶ丘小学校 菅原 翔太
5 プログラミング	大阪電気通信大学教授 兼宗 進	大阪府枚方市立桜丘小学校 藤田 朋彦	京都市立御所東小学校 今西 泰久	東京都足立区立中川小学校 西野 俊章
6 タブレット	関西大学教授 小柳 和喜雄	大阪信愛学園小学校 高橋 脩	奈良県広陵町立広陵北小学校 菅 真人	宮城県仙台市立錦ヶ丘小学校 菅原 崇志
7 PC 活用	和歌山大学教授 豊田 充崇	大阪市立姫島小学校 荒木 淳一	神戸市立西舞子小学校 橋 洋輔	沖縄県西原町立西原東中学校 三重野 秀人
8 心の教育	鳴門教育大学准教授 藤村 裕一	大阪府茨木市立天王小学校 永井 悠	和歌山県有田川町立鳥屋城小学校 中原 昌史	北海道札幌市立幌北小学校 安井 政樹
9 中学校	大阪教育大学准教授 寺嶋 浩介	大阪府豊中市立第十三中学校 杉村 貴司	奈良県野迫川村立迫川中学校 山本 雅昭 岡田 直樹	滋賀県大津市立青山中学校 川幡 善寛
10 高等学校	関西大学教授 黒上 晴夫	桃山学院高等学校 田中 智晴	奈良県奈良市立一条高等学校 植田 泰司	滋賀県立日野高等学校 井上 律己
11 支援学校	大阪教育大学教授 仲矢 史雄	大阪府立たまがわ高等支援学校 東山 喜一 伊美 聡	滋賀県高島市立高島小学校 城戸 久貴	東京都立石神井特別支援学校 海老沢 穰
12 生涯学習	全国視聴覚教育連盟 専門委員長 村上 長彦	大阪市立総合生涯学習センター 大阪市視聴覚教育協議会	丹波篠山市視聴覚ライブラリー 高見 晴彦	質疑応答、意見交換

ワークショップ・セミナー 10:40~12:10 Zoomによる公開

テーマ	形式	指導講師
1 NHK for School を活用して「学校と家庭をつなぐ学び」を考えよう！	ワーク	大阪教育大学准教授 寺嶋 浩介
2 1人1台端末時代の学びとこれからの番組活用	セミナー	関西大学教授 黒上 晴夫
3 情報モラル【自覚と自律を目指した情報モラル教育の指導法】 ートラブル事例を紹介して【気をつけなさい】で良いのか？ー	ワーク	静岡大学准教授 塩田 真吾
4 幼小連携の視点によるスタートアップカリキュラム	セミナー・ワーク	園田学園女子大学教授 堀田 博史
5 科学の「考え方」を学ぶための授業づくりを考える	ワーク	大阪大学特任講師 水町 衣里
6 生涯学習「16 ミリフィルムの未来を考える」	セミナー	全国視聴覚教育連盟 副専門委員長 丸山 裕輔

全体会 12:15~12:55 Zoom による公開

- 1.NHKプレゼンテーション (NHK for School の最新動向と活用ポイントをご紹介)
- 2.大会のまとめ (園田学園女子大学教授 堀田 博史)
- 3.大会実行委員長挨拶
- 4.機器展示抽選会 (当選者発表)

◆ 申込方法・参加方法

右記のURLからお申し込みください。 <https://sec.tobutoptours.co.jp/web/evt/zenkokutaiikai/>

1. 旅行社より参加IDとパスワードをお知らせします。
2. 大会当日は、Webサイト (URL <https://www.ictosaka2020.net/>) にアクセスしていただき、IDとパスワードを入力してご参加ください。
3. ホームページへのアクセス、Zoomへの接続の通信費は参加者にご負担ください。
4. 情報モラルの観点でIDとパスワードは個人で管理ください。
5. 当日受付はできませんので、必ず事前にお申し込みを済ませてください。
6. 二次案内以降の最新情報は、11月上旬Webサイト (URL <https://www.ictosaka2020.net/>) に大会要項・冊子及び指導案を掲載します。(随時更新します)

◆ 申し込み締め切り：10月31日(土) 17時

◆ 参加費：無 料

お問い合わせ

第24回 視聴覚教育総合全国大会

第71回 放送教育研究会全国大会

合同大会
(大阪大会)
実行委員会

実行委員長 / 十河秀敏 (箕面自由学園)
事務局 / 大阪市立今里小学校内 田原健之介
〒537-0012 大阪市東成区大今里1-35-29
TEL: 06-6981-8800 FAX: 06-6971-9535

終了しています

全国放送教育研究会連盟事務局

〒150-8001 東京都渋谷区神南2-2-1 NHK事業センター内
TEL: 03-5455-4310 FAX: 03-3481-1372
<http://www.zenporen.jp>



一般財団法人 日本視聴覚教育協会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-10-11 虎ノ門PFビル B1
TEL: 03-3431-2186 FAX: 03-3431-2192
<http://www.javea.or.jp/soutai/>



大阪府高等学校視聴覚教育研究会「大阪高視研」公式ホームページのご案内

<https://www.koushiken.jp>

NHK 杯全国高校放送コンテストの要項・申込み、及び結果・講評

高校生のための放送技術講座の要項・申込み、及び結果・講評

優秀作品のストーリーミング

リンク集（Nコン公式、NHK クリエイティブライブラリ、JASRAC など）

質問メール用フォーム

高視研総会関係 など

公式ブログ「大阪はひとつ！放送ぶろぐ」も開設しました。

結果速報や諸連絡などの発信を行っています。

<http://blog1.koushiken.jp>

発 行 日	令和3年3月31日
発 行 所	大阪府高等学校視聴覚教育研究会 事務局：池田市旭丘2丁目2番1号 大阪府立池田高等学校内（電話）072-761-1131
発行責任者	西 田 恵 二（大阪府立泉北高等学校校長）
編集委員	久 下 哲 也（大阪府立池田高等学校）